



すまい造りメール

第9号 2002年12月号

発行日平成14年12月1日
発行元有限会社佐野工務店
〒237-0068
横須賀市追浜本町1-25
TEL 0468(65)4010
FAX 0468(65)6139

世界がもし100人の村だったら

私たちが住んでいる地球は、63億人の人が生活しています。もしも、この「63億人の地球」を「100人の村」に縮めたとしたら、どうなるでしょうか。

現在深刻な問題となっている宗教戦争やエネルギー問題などの国際的な諸問題が、何故起きているのかが、見えてくるような気がします。また、それと同時にこのメールをお読みいただいていることがとてもうれしく感じられます。

100人のうち、52人が女性で、48人が男性です。30人が子どもで、70人が大人です。そのうち7人がお年寄りです。70人が有色人種で、30人が白人です。61人がアジア人で、13人がアフリカ人で、13人が南北アメリカ人で、12人がヨーロッパ人で、あとは南太平洋地域の人です。

100人のうち、33人がキリスト教を、19人がイスラム教を、13人がヒンドゥー教を、6人が仏教を信じています。5人は、木や石など、すべての自然に靈魂があると信じています。24人は、ほかのさまざまな宗教を信じているか、あるいはなにも信じていません。

100人のうち、17人は中国語をしゃべり、9人は英語を、8人はヒンディー語とウルドゥー語を、6人はスペイン語を、6人はロシア語を、4人はアラビア語をしゃべります。これによって、村人の半分です。あとの半分は、ベンガル語、ポルトガル語、インドネシア語、日本語、ドイツ語、フランス語などをしゃべります。

100人のうち、20人は栄養がじゅうぶんではなく、1人は死にそうなほどです。でも、15人は太り過ぎです。

すべての富のうち、6人が59%をもっていて、みんなアメリカ人です。74人が39%を、20人がたったの2%を分けあっています。

すべてのエネルギーのうち、20人が80%を使い、80人が20%を分けあっています。

村人のうち、1人が大学の教育を受け、2人がコンピューターをもっています。けれど、14人は文字が読めません。

1年の間に、村では1人が亡くなります。でも、1年に2人赤ちゃんが生まれるので、来年、村人は101人になります。

「世界がもし100人の村だったら」より抜粋 マガジンハウス（838円税別）
池田香代子 再話 C. ダグラス・ラミス 対訳

掲載内容

生活情報
イベント情報
街並み探訪
クイズ
コラム
など

前回のクイズの答え

②「女心」と秋の空です。

「伊勢物語」より
たはつ き か
びる ま つ つ から
をし ば し つ つ ら
ぞ き あ つ つ ろ
お き れ な ろ も
も ぬ げ に し
ふ る ば じ

ざっくばらん
雑句 芭欄

中国で生産した低価格のカジュアル服のブランドが、今度はインターネットを使って安全性に重みを置いた植物（米、野菜、果物など）の販売に進出しました。これからの衣食住は、更にフリーススタイルが加速しそうです。

クイズ

次の木へんの漢字をつなげて読むと、苦しいけれど、言葉になります。さてなんでしょうか？

- ① 梓 ② 松 ③ 椎 ④ 梯
⑤ 梅 ⑥ 櫨 ⑦ 棟

同封書類

ライフクリエイターニュース
②
太陽光発電などを活用した電化生活についての資料をご覧ください。

次号予告

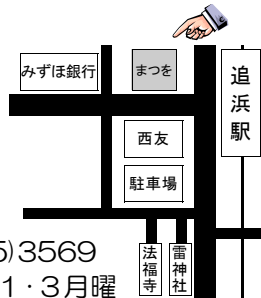
環境問題などについて取り上げる予定です。



ケーキ快腹

追浜駅前に創業70年を越える老舗の洋菓子店「まつを」があります。ケーキはすべて素材を吟味した手作りで、メルヘンチックな仕上りは食べてしまうのがおいしいくらいです。2階にある落ち着いた雰囲気のレストランでは、ケーキは勿論のこと、パスタなどの軽食をお召し上がりになることができます。クリスマスケーキが待ち遠しい季節になりました。

Patisserie MATSUO



チーフのおすすめ5品

表示金額は税別

まつを 追浜町3-9 0468(65)3569
営業 10:00~20:00 定休 第1・3月曜



とうふのプリン
¥200

とうふとあずきが絶妙のハーモニーを奏でるヘルシーな味わいです



なめらかチョコプリン
¥260

大好評「なめらか焼プリン」のチョコレートタイプです



モンブラン
¥320

「白い山」の頂と麓のクリームにこだわりました



ブルーベリータルト
¥300

ブルーベリーのほのかな酸味がクリームのみろやかさを演出します



ウルトラシー
¥200

東京五輪の年にこのメロン風味のオムレットが誕生しました

災害の備えは、地震、火災、風水害などを経験して、初めて気がつくことがあります。特に被害の大きい巨大地震については、歴史的見地からみても、いつ起きても不思議ではない状況にあり、十分な備えを心掛けたいところです。



三浦半島の断層群

政府の中央防災会議は、発生が懸念される東海地震について、最も被害が大きい場合、死者は8,000人を越え、約230,000棟の建物が全壊するなど、阪神・淡路大震災を上回る規模になることを公表しました。

また、これとは別に、地震調査研究推進本部の地震調査会は、三浦半島断層群のうち、横須賀市などを走る2つの断層帯が、今後30年間に地震が起きる可能性が全国の断層の中で、相対的に高いグループに属することを公表しました。横須賀市の消防局防災課では、断層に起因する三浦半島の地震について、最も被害が大きい場合、死者は1,800人、16,000棟の木造家屋が大破し、被災者は130,000人という数字を想定し、広域避難場所の整備や食料の備蓄などの対策を既に整えています。



震度6弱の地震をいつでも無料で体験できます

横須賀市は、今年の4月に新たな防災拠点として、市民防災センターを建設しました。2階から7階にかけて「消防局」が、3階に「通信指令室」が、4階に最新のIT技術を導入した「災害対策室」がそれぞれ設置されました。中でも1階に設置された「あんしんかん」には、実際に大きな地震の揺れを体験できる装置とともに、災害で出火した火を消火し、煙の中を避難するという体験ゾーンがあり、日頃の防災に対する意識の向上に役立っています。



第6回 すまい造り工房 開催のお知らせ 「備えあれば憂いなし」

今回で6回目を迎える「すまい造り工房」では、防災をテーマに、上記の「横須賀市民防災センター」を見学します。「居間で家族4人がくつろいでいる時に地震が起きたら」という設定で、実際に4人1組で、震度6弱の地震に遭い、揺れがおさまってから、出火した火を消火して、煙で前方が見えない狭い廊下を避難するといった一連の避難行動を体験していただきます。お忙しいこととは存じますが、ご家族やお友達をお誘い合わせの上、是非ご参加ください。

日 時	平成14年12月7日(土) 午前9時45分集合 午前10時から11時30分まで
会 場	横須賀市民防災センター 横須賀市小川町11番地 0468(21)6488
開催内容	センター内の見学(災害対策室・免震装置ほか) 体験コーナー(一連の避難行動ほか)
締め切り	先着順で20名になり次第、締め切らせていただきます。(小学生以上)
会 費	無料(現地集合・現地解散とさせていただきます。往復の交通費、駐車代金はご負担ください。)
お申込み	(有)佐野工務店 TEL 0468(65)4010 土曜・日曜を除く平日の午前9時~午後5時



046-865-4010

横須賀市、三浦市、逗子市、葉山町が対象となる「0468」地域の市外局番が、平成15年1月1日午前2時から「046」に変わります。これは、現在の数字の組み合わせが限界に達し、番号が足りなくなったための措置です。真ん中の市内局番を1ケタずらし3ケタにすることによって、今まで使用していなかった「00」や「99」などを「800」や「899」のように設定して、数字の組み合わせの数を増やし、新しい番号を確保するようです。

電話番号自体が変わらないので何も問題ないように思えますが、市内通話をダイヤルする場合や、市外局番を省略して登録している短縮やワンタッチなどでダイヤルする場合は、1月1日午前2時以降は、回線がつながらなくなります。短縮ダイヤルなどの設定を確認して、市外局番を省略している場合は、期日までに計画的に、携帯電話のように市外局番から登録する方法などをお取りください。また、FAXやインターネットなどの接続先の電話番号設定についても確認した方が良さそうです。これからは、弊社にご用命がある場合は、横須賀市内の方は「865-4010」と、市外の方は「046-865-4010」とダイヤルしてください。慣れるまでは、市外局番からダイヤルする方法があります。いずれにしても、現在お使いの電話機で対応できますので、買い換える必要はありません。

少し早いようですが

今年もお世話になりました

この4月より「すまい造りメール」をご覧いただきまして、ありがとうございます。お陰様で、この12月で第9号となりました。これからも新鮮な情報をお届けすることを心掛けます。皆様の「快適な暮らし」のヒントになれば幸いです。

尚、弊社の年末年始の休業は、12月29日(日)より1月7日(火)までとさせていただきます。その間何かとご迷惑をおかけしますが、よろしく申し上げます。1月8日(水)より平常通り営業させていただきます。